

コレクター

福富

太郎の

眼

昭和の

キャバレー王が

愛した絵画

FUKUTOMI TARO Collection : The Passion of the Cabaret Magnate



福富清方(坂島)部分 1920年 新富太郎コレクション資料係 ©Akio Numano 2021 JAN 21 100212

2021 9.18(土) — 11.7(日) 10:00~18:00 ※ 観覧券の販売は17:30まで。  
[ 休館日 ] 9月27日(月)、10月11日(月)、10月25日(月)

●観覧料 当日券：一般 1,600円(1,400円)  
大学・高校生 1,300円(1,100円)  
中学生以下 無料  
前売券：1,400円[ 一般のみ ]  
※ ( )内は有料20名様以上の団体料金。  
※ 障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料。受付で手帳をご提示ください。

●前売券のご案内 [ 販売は8月16日(月)から9月17日(金)まで ]  
セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ(JTBレジャーチケット画面から入り、コンビニ4社共通の商品番号0257322を入力し選択してください)、県内プレイガイドなどで買い求めください。

主催：新潟県立万代島美術館 NST 新潟総合テレビ コレクター福富太郎の眼新潟展実行委員会  
特別協力：福富太郎コレクション資料室 協賛：中央イベントリース  
後援：新潟市 新潟市教育委員会 新潟日报社 朝日新聞新潟総局  
毎日新聞新潟支局 読売新聞新潟支局 産経新聞新潟支局 NCV(株)ニューメディア  
FM新潟77.5 FM KENTO ラジオチャット・エフエム新潟  
エフエム角田山ぼかぼかラジオ エフエムしばた 燕三条エフエム放送  
企画協力：アートワン 協力：新潟県立美術館友の会  
お問合せ：新潟県立万代島美術館  
〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内 万代島ビル5階  
TEL 025-290-6655 <https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

新潟県立万代島美術館  
The Niigata Bandajima Art Museum



「私は、福富太郎という人は、間違ひなく戦後最高のコレクターだと思っています。」

本展監修者・山下裕二氏（美術史家・明治学院大学教授）

昭和の「キャバレー王」として知られた福富太郎（ふくとみ・たろう／1931～2018）は、戦後の高度経済成長とともに全国に店舗を展開し、実業家として成功をおさめました。また、テレビやラジオ番組に出演し、その軽妙でユーモアあふれる語り口が人気を博し、キャバレー太郎の異名をとりました。

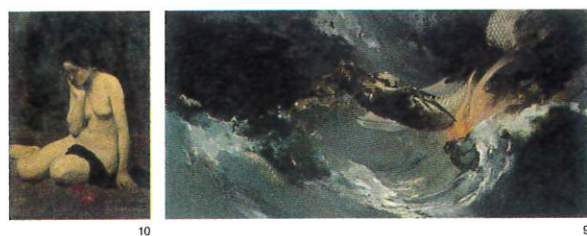
その一方で、美人画や黎明期の洋画をはじめとする近代日本絵画、さらに幼少期の体験に基づく戦争画などの美術品を長年蒐集し、「福富太郎コレクション」を築きます。そして、美術雑誌の連載をはじめとする著述や講演をとおして自身の愛するコレクションを紹介し、美術品の魅力を広く人々に伝えることに力を注ぎました。本展覧会では、蒐集のきっかけとなった日本画の鑷木清方を代表とする美人画をはじめ、明治の黎明期から昭和の戦時下に至る洋画まで、彼がこよなく愛した絵画80点余りをご覧いただけます。生前の福富太郎と深く交遊した山下裕二氏の監修により、コレクターとしての審美眼に焦点を当てながら類稀なるコレクションの全体像をご紹介します初の機会です。

I コレクションのはじまり

鑷木清方との出逢い



II 女性像へのまなざし



1.鑷木清方《妖魚》1920年 ©Akio Nemoto 2021/JAA2100212 2.渡辺守亨《塩漬高直妻浴後図》1892年頃 3.上村松園《よそはしい》1902年頃 4.高成園《存の慰い》1915年頃 5.北野恒富《道行》1913年頃 6.岡田三郎助《ダイヤモンドの女》1908年 7.山本芳翠《眠れる女》1893年頃 8.黄谷因四郎《軍人の妻》1904年 9.川村清雄《妖龍天に昇る》1891年頃 10.中村不折《落椿》1912年 ※所蔵先はすべて福富太郎コレクション資料室

特別出品 福富の没後、東京都現代美術館に一括寄贈された戦時下の洋画コレクションから5点を出品

III 時代を映す絵画

会期中のイベント

●講演会「戦後最高のコレクター・福富太郎と私」

9月18日(土) 14:00～15:30

[ 定員60名(事前申込制) / 聴講無料 ]

[ 講師 ] 山下裕二氏 (本展監修者 / 美術史家・明治学院大学教授)

[ 会場 ] NICOプラザ会議室 (朱鷺メッセ内万代島ビル11階)

※申込方法:往復はがきに、①参加人数(1通につき2名まで可)、②参加者全員の氏名・住所・電話番号(日中に連絡可能なもの)を明記の上、当館まで送付してください。9月1日(水)必着。応募多数の場合は抽選となります。

●鑑賞講座「福富太郎が愛したコレクション」

10月17日(日) 14:00～15:00

[ 定員25名(申込不要・先着順) ※13:30より受付 / 聴講無料 ]

[ 講師 ] 澤田佳三 (当館専門学芸員)

[ 会場 ] 美術館ロビー

●学芸員によるギャラリートーク

10月3日(日)、10月10日(日)、11月3日(水・祝)

各日14:00～

[ 会場 ] 展示室 [ 申込不要 / 要観覧券 ]



[ 福富太郎 ] 本名・中村勇志智(なかむら・ゆういち)。東京の品川区に生まれる。16歳で銀座のキャバレーのボーイとなり、31歳には巨大キャバレー「銀座ハリウッド」をオープンさせ、「健全娯楽」をモットーに全国に44店舗を展開。コレクターとしては、浮世絵をはじめ、河鍋晩斎、そして鑷木清方らの日本画、さらには洋画にも対象を広げ、あくまでも自身の眼で作家と作品に向き合い蒐集した。そのコレクター人生は、『芸術新潮』の名物連載「福富太郎のアート・キャバレー」に詳しい(後に単行本化)。

〔次回展覧会のご案内〕「サンリオ展 ～ニッポンのカワイイ文化60年史～」2022年1月20日(木)～4月10日(日)[予定]

〔新潟県立近代美術館(長岡市)の展覧会〕「高畑勲展 -日本のアニメーションに遺したもの」2021年9月18日(土)～11月14日(日)

●新潟駅から:タクシー約8分/徒歩約25分/バス約15分(万代口バスターミナルより「佐渡汽船線」(3番線)に乗車し「朱鷺メッセ」下車)  
●自動車:高速道路 北陸道[新潟西I.C.]/磐越道[新潟中央I.C.]/日東道[新潟亀田I.C.]から一般道へ。新潟バイパス・亀田バイパスを紫竹山I.C.で降りて、栗ノ木バイパスを新潟西港方面へ。●新潟空港から:タクシー約20分

[ 駐車場 ] ①万代島駐車場(A～E駐車場) ※Cは思いやり駐車場)1時間まで無料(1時間経過後、100円/30分)[Tel:025-246-8400]

②万代島ビル駐車場(1F、M2F)100円/20分[Tel:025-249-1044]

ご来館の皆さまへのお願い

・マスクの着用にご協力をお願いいたします。・展示室の床は靴音が響きやすいため、柔らかい、あるいは平らな靴底の履物をお勧めいたします。  
・新型コロナウイルス感染症の状況により、開催内容に変更が生じる場合があります。最新の情報は当館ウェブサイト等でご確認ください。

新潟県立万代島美術館  
The Niigata Bandajima Art Museum

〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内 万代島ビル5階  
TEL:025-290-6655 <https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

